

使用指導のポイント

- 成分・分量：1g中 ビダラピン 30mg
- 効能：口唇ヘルペスの再発（過去に医師の診断・治療を受けた方に限る）
- 用法・用量：1日1～4回、患部に適量を塗布する。
（唇やそのまわりにピリピリ、チクチクなどの違和感をおぼえたら、すぐに塗布する）

指導上の注意点

用法・用量の厳守

- ◆用法・用量「1日1～4回、患部に適量を塗布すること」を厳守するようご指導ください。
- ◆目に入らないよう注意するようご指導ください。
- ◆外用にのみ使用するようご指導ください。
- ◆口に入れたり、なめたりしないようご指導ください。
- ◆常備薬として保管する際に、初発の家族が誤って使用しないよう、十分注意するようご指導ください。

使用部位

- ◆口唇や口唇周辺以外の部位には使用しないようご指導ください。

症状がよくならない、又はひどくなる場合

- ◆5日間使用しても症状の改善がみられない場合又はひどくなる場合は、重症か他の疾患の可能性がありますので、なるべく早く医師又は薬剤師にご相談するようご指導ください。

長期連用時の対応

- ◆本剤の使用により症状の改善がみられても、治るまでに2週間を超える場合は、重症か他の疾患の可能性がありますので医師又は薬剤師にご相談するようご指導ください。使用期間は10日程度が目安です。かさぶたができて乾燥したら使用終了です。

その他

- ◆添付文書をよく読んで使用するようご指導ください。

使用上の注意点

- ◆早期に使用すると治りが早く、ひどくなりくいいため、ピリピリ、チクチクなどの違和感をおぼえたら出来るだけ早く（5日以内）に使用を開始するようご指導ください。
- ◆使用時期は毎食後、就寝前を目安に使用するようご指導ください。
- ◆次のような症状があらわれた場合は直ちに使用を中止し、医師又は薬剤師に相談するようご指導ください。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、はれ、かゆみ、かぶれ、刺激感

（本剤によるアレルギー症状であるか、本剤の刺激であると考えられ、このような場合、続けて使用すると症状がさらに悪化する可能性があります。）

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口
電話 03(5412)7393
受付時間 9:00～17:00
（土・日・祝日を除く）



口唇ヘルペスの再発治療薬
アラセナS



K0910

口唇ヘルペスの再発治療薬



アラセナS

第1類医薬品

適正使用のチェックシート

次の方には使用させないでください

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります）

- 受診経験 医師による口唇ヘルペスの診断・治療を受けたことのない方
●医師による口唇ヘルペスの診断を受けたことのない人は、自分で判断することが難しく、初めて発症した場合にはひどくなる可能性がありますので、医師の診療を受けてください。
- 年齢 6才未満の乳幼児
- 症状 患部が広範囲の方
- 症状 発熱、広範囲の発疹等の全身症状がみられる方
- 既往 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある方

上記にあてはまらない方

次の方の使用には注意し、場合によっては医師に相談するようご指導ください

- 治療中 医師の治療を受けている方
- 体質 薬でアレルギー症状を起こした方
- 体質 本人や家族がアレルギー体質の方 アトピー性皮膚炎の方
- 女性 妊婦又は妊娠していると思われる方 授乳中の方
- 症状 湿潤やただれがひどい方

上記にあてはまらない方



アラセナSを使用できます。



（裏面の注意点もよくご指導ください）

使用上の注意と解説事項

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

使用上の注意

解説事項

1. 次の人は服用しないでください

- (1) 医師による口唇ヘルペスの診断・治療を受けたことのない人。
 医師による口唇ヘルペスの診断を受けたことのない人は、自分で判断することが難しく、初めて発症した場合にはひどくなる可能性がありますので、医師の診察を受けてください。
- (2) 患部が広範囲の人。
- (3) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (4) 6歳未満の乳幼児。
- (5) 発熱、広範囲の発疹等の全身症状がみられる人。

1.

- (1) 口唇ヘルペスの症状と考えられる場合であっても、初発の場合には自己判断が難しいため、医師による口唇ヘルペスの診断・治療を受けたことのない人の使用を禁止しました。
- (2) 患部が広範囲の場合は重症であり、医療機関を受診する必要があるため、使用を禁止しました。
 ※口唇ヘルペスの再発では、2~3mmの水疱が口唇やその周辺の一箇所にいくつか集まって出来ます。水疱が何箇所にもできる場合や顔面など口唇やその周辺以外にできる場合は、症状が重症であったり、他の疾患の可能性があります。
- (3) 本剤の成分であるピダラピンによってアレルギー症状を起こしたことがある人は、同じ症状を発現する可能性があるため、使用を禁止しました。
- (4) 乳幼児の場合、初めて感染した可能性が高いと考えられるため、乳幼児への使用を禁止しました。
- (5) 発熱、広範囲の全身症状がみられる人は重症化するおそれがあり、医療機関を受診する必要があるため、使用を禁止しました。

2. 口唇や口唇周辺以外の部位には使用しないでください

2. 本剤の対象疾患は口唇ヘルペスであることから、口唇や口唇周辺以外の部位には使用しないよう注意喚起しました。

3. 長期連用しないでください

3. 口唇ヘルペスは7日~2週間程度で自然治癒することが知られており、治癒が2週間を超えるような場合には、症状が重いか他の疾患によるものと考えられるため、長期連用しないよう注意喚起しました。

相談すること

使用上の注意

解説事項

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師にご相談ください

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。

1.

- (1) 医師の治療を受けている人は、医師から何らかの薬剤の投与又は処置を受けている可能性があり、さらに自己判断で他の薬剤を使用することは、同種薬剤の重複投与や相互作用等を引き起こすおそれがあるため相談事項としました。
- (2) 妊婦の安全性は確立していないことから相談事項としました。
- (3) 授乳中ラットにピダラピンを静脈内投与すると乳仔へ移行することが認められているため、相談事項としました。(乳仔の血液中濃度は母獣の1/10~1/240です。)

使用上の注意

- (4) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (5) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 湿潤やただれがひどい人。
- (7) アトピー性皮膚炎の人。

解説事項

- (4) 本人又は家族がアレルギー体質の人は、一般的にアレルギーを起こしやすいため、相談事項としました。
- (5) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人は、アレルギーを起こした薬剤及びその類縁の薬剤を避けて使用する必要があるため相談事項としました。
- (6) 湿潤やただれがひどい人は、重症化した口唇ヘルペスのほか、他の疾患の可能性も考えられるため、できるだけ早く医師の診察をうけるよう相談事項としました。
- (7) アトピー性皮膚炎の人が口唇ヘルペスを発症した場合は重症化する可能性があり、専門医に相談して指示を受ける必要があるため相談事項としました。

2. 次の場合は、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師にご相談ください

- (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、はれ、かゆみ、かぶれ、刺激感

- (2) 5日間使用しても症状がよくなる場合、又はひどくなる場合。

2.

- (1) 医療用アラセナーA軟膏3%で認められている皮膚症状を分かりやすく記載しました。
- (2) 本剤を5日間使用し、改善のきざしがみられないか、あるいは悪化する場合には他の疾患による可能性もあるため、注意喚起しました。

用法・用量に関連する注意

使用上の注意

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (3) 目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診察を受けてください。
- (4) 外用にのみ使用してください。
- (5) 口に入れたり、なめたりしないでください。
- (6) 家族で初めて発症したと思われる人が誤って使用しないよう、十分注意してください。

解説事項

- (1) 定められた用法・用量以外の使用は、十分な有効性が得られないばかりでなく、副作用を引き起こすおそれがあるため注意を促しました。
- (2) 小児の自己判断による使用は、誤用や効能外使用のおそれがあり、使用に際しては保護者による適切な指導監督が必要であることから記載しました。
- (3) 本剤は外用剤であり、目に入った場合は刺激を起こす可能性があるため注意を促しました。
- (4) 本剤は外用剤であり、誤った部位に使用すると副作用を引き起こすことがあるため注意を促しました。
- (5) 口に入った場合の安全性を考え、口に入れないよう注意を促しました。
- (6) 常備薬として保管する際に、初発の家族が誤って使用しないよう注意を促しました。

口唇ヘルペスの再発治療薬
アラセナーS

